

府立京都学・歴彩館オープニング事業 「京都を学ぶセミナー洛北編」第8回（開催報告）

平成29年10月24日
京都学・歴彩館
075-723-4835

平成27年度に府立京都学・歴彩館プレ事業として行った「洛北の文化資源」研究プロジェクトの成果を、分かりやすく解説する「京都を学ぶセミナー【洛北編】」第8回を、下記のとおり開催しましたので報告します。

記

■ 日 時 平成29年10月24日（火）13:00～14:30

■ 会 場 京都府立京都学・歴彩館1階 大ホール

■ 参加者数 135名

■ 内 容 (1) 講 演 京都府立大学 文学部准教授 ^{ひがし}東 ^{のぼる}昇 氏

「江戸時代の岩倉長谷村と聖護院・天皇」
江戸時代の洛北岩倉長谷村のあり方について、領主聖護院や、天皇の葬送との関係に着目し、豊富な地図や歴史資料を用いて解説。

(2) 交流会 京都学ラウンジで参加希望者と講師を交え意見交換会を実施

■ 当日の参加者の声

日本近世史・歴史情報学を専門とする講師のご講演に熱心に耳を傾けておられ、「長谷村と聖護院、領主と領民との深いつながりが興味深かった」「長谷村の史跡を訪れたい」等好評を得た。

講演の様子



交流会の様子

